

発行元 大石祥一後援会  
住所 大分市萩原緑町2番3号  
電話 097-551-1056  
発行責任者 上田智仁



# 新たな時代 新たな力 新たな挑戦 地域とともに

## 大石祥一後援会便り

第33号

日々の活動や皆さんのお役に立てる情報など発信していますので、メールマガジンへの登録をお願いします。  
ホームページも都度更新しています。

ホームページ



メルマガ



### 令和3年第3回定例会開催

9月1日に開会した令和3年第3回大分市議会定例会は、人事案件を含む上程議案19議案を審議し、9月15日に採決が行われ、原案通りに可決しました。その後、2020年度一般会計決算認定案件（4件）については、決算特別委員会が設けられ、16日から24日迄の間で審議、27日に審査結果が報告され、こちらも原案通りに可決して全日程を終了しました。

#### 予算議案

新型コロナウイルス感染症対策に引き続き取り組むための経費のほか、企業立地の促進や、ふるさと納税に係る経費などを中心に3件が審議され、可決されました。

その結果、補正額は**19億9100万円**となり、補正後の一般会計予算総額は**1903億7000万円**（対前年比**24・8%減**）となりました。

#### 一般議案は16議案

「大分市立幼稚園および保育所の在り方の方針」における幼稚園の休園・統廃合基準を踏まえ、地域の実情を勘案した総合的な判断により、植田幼稚園について令和4年4月1日をもって廃止しようとする「大分市立幼稚園条例の一部改正」について、開設後42年が経過する中で、情報通信技術の進歩に伴う新たな情報教育、建物の設備の老朽化や立地条件等の要因などのさまざまな課題を検討し、「大分市情報学習センターで行ってきた情報教育の今後の在り方について」の方針を踏まえ、令和4年4月1日をもって廃止しようとする「大分市情報学習センター条例の廃止」について、大南地域においてグリーンスローモビリティ

ティの実験運行を行うため、「低速電動バスの購入」について、大南地区スポーツ施設整備事業の用地として、大

分県土地開発公社から購入しようとする「土地の買収」について、承認可決しました。

### 9月補正予算のポイント



#### 新型コロナウイルス感染症関連事業

##### 検査体制強化事業

引き続き、感染者の早期発見および感染拡大の未然防止を図るため、「抗原検査センター」を令和4年3月末迄延長  
【予算額：2億5,600万円】

##### PCR検査・治療費追加

・医療機関が行うPCR検査及び抗原検査委託料の追加  
・感染症入院患者治療費の追加計上  
【予算額：2億3,200万円】

##### 感染予防対策補助金

中小企業等が感染拡大防止策（アクリル板設置等）に係る施設改修費に対する補助金  
【予算額：1億6,000万円】

#### その他事業

##### 企業立地推進事業

企業誘致等を目的に、製造業・貨物運送業・卸売業・コールセンター業・バイオマス発電・建設業等14社に対する補助金【予算額：7億2,730万円】

##### ふるさと大分市 応援寄付金推進事業

本市への「ふるさと納税寄付金」収入増に伴い、返礼品・送料費用を追加  
【予算額：3億6,300万円】

##### マイナンバーカードセンター設置運営事業

（仮称）大分市マイナンバーカードセンターを市内中心部（中央町：大分オーパ2階）に設置し、普及促進を図る  
【予算額：9,670万円】

#### 請願・陳情

前号で記述しました、「金池校区に公衆トイレを整備することを求める陳情」につきましては、その後、調査研究をする中で、ボードウォーク広場の、バスケットゴールで遊ぶ方などに、「公衆トイレ」の必要性を聞いたところ、必要性は感じていませんでした。また、南蛮B.V.N.G.O交流館のトイレまでの間に、交通量の多い「顕徳・古国府線」を横断しなければなりません。

前号で記述しました、自治会が安全対策の要望を関係箇所に出したと聞きました。これらを踏まえ、9月議会での審査には、当初は「トイレ整備が必要」と考えていましたが、「必要無」と考えを改め審議に臨みました。結果は、私を含めほとんどの議員が「不採択」に手を挙げ、審査結果は不採択となりました。調査にご協力して頂いた皆様ありがとうございました。

### 祥ちゃんメモ

9月議会では、地域の要望を踏まえた2点の質問を行い、執行部より回答を得ましたので、ご報告いたします。



議場で質問をする様子

#### 猪野団地入口 交差点について

#### ▽工事の進捗状況は？

昨今、市内の道路整備は、すでに開通した庄の原佐野線の宗麟大橋に続き、国道10号線では高江地区、国道197号線では鶴崎地区、さらには、国道442号線では宗方地区などの拡幅工事に着手しています。また、本市の事業は、中島錦町線の開通、県庁前古国府線が拡幅されるなど、交通渋滞の緩和や安全性の確保により道路環境は着実に改善されており、道路ネットワーク強化が図られています。

このような中、わたくしは、過去2回、産業道路・日岡交差点から昭和電工ドームに通じる県道松岡日岡線沿いにあります猪野団地・入り口交差点の改良について質問をしております。

その内容は、「当該交差点は、東西の市道が約15mずれており、右折の際は極めて危険な交差点であり、是非とも安全な交差点に改良してほしい。」と言うものでした。

執行部の答弁は、「早期事業化を目指してまいります。」「地元の協力をいただながら、早期完成に努めてまい

ります。」との事でしたが、その後、令和2年7月と9月に地元説明会が実施されました。そして、令和2年11月と令和3年3月にかけて、事前工事として、六銭橋上流側に新設する橋の右岸側基礎工事が行われています。しかしながら、当該交差点付近を通行する人からは、「何の工事をしていくの?」「交差点改良工事と何か関係があるの?」と聞かれます。そこで、当該交差点の進捗状況を教えて下さい。

【答弁・都市計画部長】

当該工事は、渋滞の緩和と安全性の向上を目的に、平成30年3月に県と本市において基本協定を締結し、令和6年度末の完成を目指し事業を進めています。

現在の進捗状況は、市道の拡幅に伴う用地買収、建物補償などを進めており、昨年度から県河川の原川に新設する橋梁の工事をおこなっています。

▽団地入口の検討状況は?

昨年の9月に行われた地元説明会では、隣接する団地(瑞穂苑)の入口が、交差点改良工事により2ヶ所から1ヶ所になるという説明を受け、団地の住民の方から、急病人がでた時や火事の際、緊急車両の出入りに不安を生じるので、「何とか入り口を現状の2ヶ所を確保してもらいたい」という要望がでていました。そこで、団地入口の検討状況を教えてください。

【答弁・都市計画部長】

既存の入口のうち県道に近い側については、交差点改良工事に伴い、車両の乗り入れができない状況になっていますが、地元の要望もあることから、今後は、2箇所の確保に向けて、地域住民と協議を行ってまいりたいと考えております。

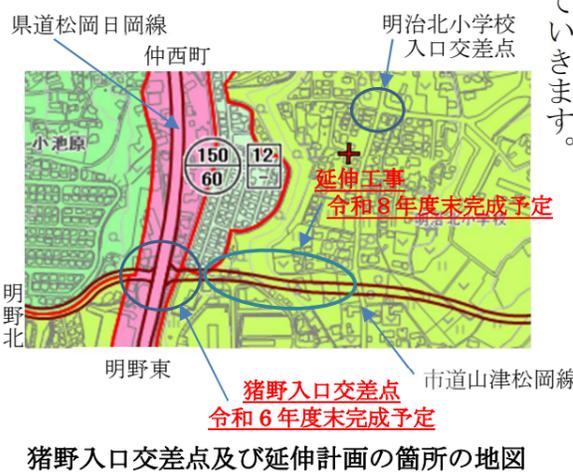
▽延伸工事の状況は?

次に、猪野団地入り口交差点から、市道山津松岡線の明治北小学校入口交差点より南へ200〜300m程行ったところに接続される道路整備計画、これは猪野団地・入り口交差点改良工事の箇所から延伸されると聞いていますが、この工事の状況を教えてください。

【答弁・都市計画部長】

猪野団地入り口交差点から延伸する道路整備計画は、明野地区などの慢性的な交通渋滞の解消と安全な通学路の確保を目的に、市道山津松岡線と交差する約300メートルの間において、昨年10月に事業認可を受け着手しました。

本年度は道路詳細設計や地質調査、用地測量を予定しており、今後は、令和8年度末の完成を目指し、用地買収や建物補償、道路改築工事などを進めていきます。



【答弁を受けて】

今回、3回目の質問で、やっと交差点改良工事の完成時期が示され安堵しています。改良工事は、安全性の向上や渋滞緩和に繋がることから、工程通りに工事が進む事を要望します。また、団地の入口についても、住民との対話を重視した上での対応を要望します。

公園の活用について

近年、少子高齢化が進む中、施設等の利用者に変化が表れてきており、その中の一つに公園があると思います。わたくしの幼少期には、公園と言え

ば子ども達が遊具で遊び、走り回る場所でしたが、ここ数十年前からは、高齢者も利用する場所となっています。何故なら、大半の平日の午前中は、公園で高齢者がグラウンドゴルフやゲートボールを行っており、夕方に子ども達の姿を見かけます。

そして、朝夕には、大人の方が健康維持増進のためにウォーキングをしています。その途中に公園で体操をしたり、休憩の場所にもなっています。

このように、少子高齢化の影響は公園施設の利用方法にまでも影響を及ぼしていると言えます。

そこで、提案ですが、公園の新たな利用方法として、すでに高齢者が集う場所となっている公園に、健康維持増進を兼ねた居場所づくりの仕組みを設けてはどうか?

そして、この様な取り組みが、今以上に高齢者と子育て世代を結び付ける交流の場になればと思います。具体的には、公園に健康器具の設置を要望いたします。

すでに、健康器具を設置している公園はありますが、もっと身近な公園に設置して頂きたいと考えます。

設置にあたりましては、子どもの遊具を撤去して新たに設けるのではなく、現状余裕のある敷地スペースに設置をすることで、子どもと大人・高齢者が共存した場所として活用出来たらと考えます。

そして、平日頃より「高齢者にとって、健康づくりとコミュニケーション

の場として公園は貴重な公共空間」と位置づけ、「明野創生ビジョン」の作成や、地域まちづくりビジョンに取り組んでいます。明野地区をモデルケースに設置してはいかがでしょうか?

【答弁・都市計画部長】

健康器具は、高齢者をはじめとして幅広い世代の方々の日常的な健康・体力づくりをはじめとして、生活習慣病の予防や世代間交流の場づくりとしても効果的であることから、本市では七瀬川自然公園や平和市民公園などの比較的規模の大きな公園に93基設置しているところですが、明野地区につきましては、具体的な設置場所や器具などについて地元の皆様と協議を行い、取り組んでまいりたいと考えております。



七瀬川自然公園に設置されている健康器具

【答弁を受けて】

健康器具には、ストレッチ・筋力・マッサージ・バランスなど、色々なタイプの器具があり、資料では、22機種ありました。

予算も伴うので、何機種設置するのが適切かは、私にはわかりませんが、明野地区の方の希望を取り入れて設置していただくよう要望いたします。

最後に、今まで以上に公園が、健康づくり場として、さらには、全ての世代のコミュニケーションの場になる事を期待します。

活動状況

7月

▽田ノ浦海水浴場海開き

▽議会との意見交換会(川床地区(戸次))



議会の新たな取組として、各種団体との意見交換会を始めました。第1回目は、川床地区のみなさんと「地域の課題」について、意見を交わしました。

▽人権フェスティバル2021

▽新貝天満社夏祭り神事

▽豊原神社夏季大祭

8月

▽議会との意見交換会(明野地区)

▽令和3年第2回臨時議会

▽神風特別攻撃隊慰霊祭



終戦の日(15日)、大分海軍航空隊の基地があった大洲総合公園から、終戦を告げる玉音放送の後に「最後の特攻隊」の慰霊祭があり、黙祷を捧げました。

▽基幹大分年間総括研修会

9月

▽令和3年第2回市議会定例会

▽第55回日本製鉄大分労組定期大会

▽みんろうきょう第49回定期総会

【初心安心】

▼新型コロナウイルス感染拡大も、ようやく落ち着き「第5波」を乗り越える事が出来たと思えます。▼一方で、市内のワクチン接種率(12歳以上の対象者)は、1回目が81.8%、2回目が74.4%(11月4日現在)で、ほぼ全国平均に並びました。▼しかし、ウイルスが再び変化して新たな感染拡大に繋がるか不安です。

▼引き続きの感染対策をお願いします。(S・O)

